

10. サイン計画について

「いしのまき水と緑のプロムナード計画見直し(案)」では、プロムナードの利便性、快適性の向上、更には市民に愛される石巻のまちづくり、集いとにぎわいを呼ぶための利活用方策の一環としてサイン計画を立案する。

サイン計画の目的

① 目的地までの円滑な誘導

地元住民や観光客の人たちが、拠点等への目的地まで円滑に移動できるように誘導する。

② 石巻について学ぶ

地元住民や観光客の人たちに、サインを通じて石巻の歴史、文化、産業等について学んでもらい、市民に愛される石巻のまちづくりを目指す。

③ 楽しさや賑わいを演出し、 来訪者の増大と石巻の地域活性化を図る

利便性を向上させることだけでなく、サインのデザインにイラストやアニメを活用する等、楽しさや賑わいを演出し、来訪者の増大をめざし石巻の地域活性化を図る。

【サインの留意点】

1. 誰もが見やすく、わかりやすいサインとする。

子どもからお年寄りまで誰もが見やすく(視認性が高く)、分かりやすいサインとする。また、誘導や避難に用いるサインはユニバーサルの観点から日本語、英語及び絵文字等による表示を基本とし、必要に応じて音声案内等を活用する。

2. 周辺景観との調和、融合を図るとともに、石巻らしさを演出する。

周辺の町並みや自然環境等の景観との調和を図り、情報を的確に伝えるとともに、歴史や文化といった石巻らしさを演出する素材、デザインとする。

3. サインの分類に応じて、サインのデザインを統一させる。

サインの分類上同じものは、統一したデザインとし、複数のサインが連携することで情報の伝達効果を高める。

4. 市民のみんなで考える。

市民参加で「石巻のことをより分かりやすく解説する」サイン作成や設置を検討する。なお、将来に向けて、更新や充実を図っていくよう、継続していく。

サインの分類

サインは、案内、誘導、歴史や文化等の説明、利活用のサインと避難や津波啓発の防災サインを対象とする。

	設置の目的	サインの事例
利 活 用 サ イ ン	①案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> 全体案内(ルート・拠点の説明、トイレ、休憩施設等の説明) 拠点内の主要施設を案内 現在地の表示 
	②誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> 観光客をまちの中心部からプロムナードのルートや拠点まで誘導 注目スポット等へ誘導 
	③説明サイン	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な地域資源を解説する プロムナードのルートや拠点周辺の歴史、文化、産業等、更に史跡等の地域資源を解説する 
	④その他	<ul style="list-style-type: none"> 海や川の景観を楽しめる場所を示す 河口からの現在の位置までの距離を示す お勧めの散策コースや目的地までの所要時間等を知らせる 
防 災 サ イ ン	⑤避難サイン	<ul style="list-style-type: none"> 津波避難場所や避難経路などを表示 
	⑥津波啓発サイン	<ul style="list-style-type: none"> 津波の知識を学習し、危険性を表示 過去に襲った津波の高さを表示 

10. サイン計画について

サインの主な配置(案)

- ①案内サイン:プロムナード全体を記した案内サインは、来訪者の交通の拠点となる石巻駅や、各拠点の要所に設置する。
- ②誘導サイン:プロムナードやその周辺道路の分岐点となる箇所に設置する。
- ③説明サイン:石巻の歴史や文化等を伝える各施設に対し説明サインを設置する。

ルート・拠点	番号	説明サインの例
拠点B	①	北上川河口と海難救助の歴史
	②	港の歴史
ルート②	③	北上川河口と海難救助の歴史
	④	門脇町の歴史
ルート③	⑤	一皇子宮
	⑥	慈恩院
	⑦	箱崎八幡神社
拠点D	⑧	北上川や中瀬での造船の歴史
	⑨	大嶋(住吉)神社、住吉公園
拠点C	⑩	船着場の歴史
	⑪	立町・羽根町等の歴史
ルート④	⑫	住吉町、千石町の史跡
	⑬	昔の水遊風景
ルート⑥	⑭	石巻専修大学の桜

※説明サインは、将来にわたって更新・充実を継続

【凡例】

- プロムナードルート ①～⑥
- 拠点 B～H
- 案内サイン
- ➡ 誘導サイン
- 説明サイン ①～⑭



① 雲雀野海岸

※拠点B:旧計画の拠点A、B、Eを統合

10. サイン計画について

【プロムナード計画の利活用の推進に向けた提案】

●サインプロジェクト（仮称）

サインプロジェクト（仮称）は、市民、行政、学識経験者など「いのまき水と緑のプロムナード計画」に係る人たちの連携と協働により、サインの検討から設置を行う。また、設置後のサインの更新や充実を図る活動を継続的に行うことを想定する、市民参加型のプロジェクトとする。

▼サインプロジェクト（仮称）の連携・協働イメージ



●サインプロジェクトの活動方針（案）

サインプロジェクトは、以下の3つの方針で活動する。

方針① 石巻の歴史や文化・産業を、観光客等の外来者に分かりやすく説明するとともに、市民にとっても、学習しながら古き良き石巻の姿に思いを馳せることのできるサインの検討を行う。

方針② 活動を通じて、石巻の歴史・文化の伝承の担い手を育成する。

方針③ 参加者が楽しみながら活動し、将来にわたって継続する。

活動内容（案）

①ワークショップ等によるサインの検討

・ワークショップ等を開催し、石巻の歴史、文化、産業等の解説や、個々の施設の説明等を市民との協働により検討する。



▲ワークショップの事例写真

②市民によるサイン検討と設置

・サインの配設置や製作、設置など、実施に向けた検討を行う。
・例えば、製作から設置までを市民自らが実施するなどにも考えられる。



▲説明看板のイメージ
市民視点でわかりやすく、深みのある説明文を作成

③プロムナードマップの作成

・市街地の観光施設や魅力あるポイント、トイレ、食事処、バス停留所、回遊する散策路などを分かりやすく記したマップを作成する。



▲フットパスのイメージ（最上川朝日）

④プロジェクトのフォローアップ

・分かりやすさや見やすさ等について、来訪者のヒアリングやアンケート等を実施しながら検証し、継続的にサインの内容更新や設置箇所追加、充実を図っていく。



▲イベント風景の事例写真（遠賀川）